

科 目		学 年	単 位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
美術:Fine Art		1MESC	1	50分×30回	履修	講義・通年	—
教 員 名		村上芳明:MURAKAMI Yoshiaki					
授業概要	美術の基本は自分の身の回りの世界に関心を持ち、興味を持ったものをどれだけ、自らの感性という目で探求することができるかということである。日常的に見慣れたものでも、あらためてよく観察し、自分の感性というフィルターを通して表現すると、それまでは気がつかなかった新しい世界を創造できたりするものである。この授業では「描く」「つくる」「表現する」「鑑賞する」といった行為を通して、自分の感性を磨き、そしてそれを表現するということについて学ぶ。						
到達目標				評価方法			
(1)デッサンを通して対象物を観察し、表現する技術を身につける。 (2)色彩学を通して、色の成り立ち、応用を理解する。 (3)プロダクトデザインを通して、工業製品と人との良い関係の中に美術という分野からのアプローチの方法があることを学ぶ。				各期末試験と実技作品①②③④の内容により評価する。ただし、それ以外の授業中に作成した作品や自学自習により作成した作品も評価の対象とする。 期末試験40%、提出作品60%とする。			
学習・教育目標		(F)		JABEE基準1(2)		—	
授 業 計 画	回	項 目	内 容	回	項 目	内 容	
	第1	授業の目的・意義	1年間の授業の概要について説明する。	第16	鑑賞	デザインの世界 ビデオを使って	
	第2	デッサン	鉛筆の使い方。簡単なドローイング。	第17	デザイン	身近なもののデザインⅠ アイデアデッサン	
	第3	〃	素描Ⅰ 形の捉え方のトレーニング。	第18	〃	身近なもののデザインⅡ 2点透視図法の応用	
	第4	〃	素描Ⅱ 形の捉え方のトレーニング。	第19	〃	身近なもののデザインⅢ コンセプトスケッチ(下描き)	
	第5	〃	素描Ⅲ 形の捉え方のトレーニング。	第20	〃	身近なもののデザインⅣ コンセプトスケッチの作成	
	第6	〃	身近なもののデッサンⅠ	第21	〃	身近なもののデザインⅤ コンセプトスケッチ(着色)	
	第7	〃	身近なもののデッサンⅡ 鉛筆によるグラデーション	第22	〃	身近なもののデザインⅥ 実技作品③提出	
	第8	〃	身近なもののデッサンⅢ 実技作品①提出	第23	鑑賞	プロダクトデザインの世界 ビデオを使って	
	第9	鑑賞	ビデオを使って	第24	プロダクト デザイン	プロダクトデザインⅠ アイデアデッサン	
	第10	色彩学	色鉛筆によるグラデーション(彩度) 色鉛筆の使い方。混色の方法。	第25	〃	プロダクトデザインⅡ コンセプトスケッチ(下描き)	
	第11	〃	色鉛筆によるグラデーション(色相)	第26	〃	プロダクトデザインⅢ コンセプトスケッチの作成	
	第12	〃	4純色によるグラデーションⅠ	第27	〃	プロダクトデザインⅣ コンセプトスケッチの作成	
	第13	〃	4純色によるグラデーションⅡ	第28	〃	プロダクトデザインⅤ コンセプトスケッチ(着色)	
	第14	〃	4純色によるグラデーションⅢ 実技作品②提出	第29	〃	プロダクトデザインⅥ 実技作品④提出	
第15	まとめ	学習事項まとめ	第30	まとめ	学習事項まとめ 授業評価アンケート		
自学自習の内容		随時、授業の課題を引き続き制作し、完成させる。スケッチブックに作品を描くという課題。					
関連科目							
教 科 書		高校美術Ⅰ(日本文教出版株式会社)					
参 考 書							
授業評価・理解度		最終回到授業評価アンケートを行う。					
副担当教員		薄井信治					
備 考							

科 目 名		学 年	単 位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
音楽:Music		1MESC	1	50分×30回	履修	講義・通年	—
教 員 名		吉田美香:YOSHIDA Mika					
授業概要	検定教科書に沿って、世界の様々な分野の音楽と親しむ。学校音楽教育の最後の1年として、基礎的な音楽能力を確認しつつ、更に高度な力を身につけ、音楽的自立を目指す。同時に様々な時代・地域の音楽を通して、互いの違いを認め、共感・共生する心と、生涯にわたって音楽を愛好する豊かな感性と表現力を身に付ける。						
	到達目標			評価方法			
1)世界の様々な音楽に親しむ。 2)音楽祭に向けてクラス合唱の楽しさを味わう。 3)ギターの演奏技術を習得する。 4)楽典の基礎知識を身に付ける。(プリント学習)			前期①小テスト(40%)②プリント提出(30%)③ギター(30%) 後期①学年末テスト(40%)②プリント提出(30%)③ギター(30%)				
学習・教育目標		(F)		JABEE基準1(2)			
授 業 計 画	回	項 目	内 容	回	項 目	内 容	
	第1	ガイダンス	年間を通しての授業の目的・進め方を理解する	第16	【ギター演奏】	前期の復習	
	第2	西洋の音楽	バロックの音楽 1.	第17	〃	メロディ奏	
	第3	〃	バロックの音楽 2.	第18	〃	コード奏	
	第4	〃	古典派の音楽 1.	第19	〃	アルペジオ奏	
	第5	〃	古典派の音楽 2.	第20	〃	弾き語り	
	第6	〃	ロマン派の音楽 1.	第21	〃	ギター実技テスト	
	第7	〃	ロマン派の音楽 2.	第22	西洋の音楽	現代の音楽 1.	
	第8	小テスト 【ギター演奏】	第1～7のまとめテスト ギター入門	第23	〃	現代の音楽 2.	
	第9	【ギター演奏】	タブ譜の読み方	第24	日本の音楽	日本の伝統音楽 1.	
	第10	〃	音階の習得	第25	〃	日本の伝統音楽 2.	
	第11	〃	簡単なメロディを弾く	第26	世界の音楽	世界の諸民族の音楽 1.	
	第12	〃	〃	第27	音楽祭に向けて	音楽祭りハーサル	
	第13	〃	ギター実技テスト	第28	音楽祭	音楽祭	
	第14	〃	コードとアルペジオ	第29	世界の音楽	世界の諸民族の音楽 2.	
第15	〃	〃	第30	まとめ	1年間の学習内容のまとめを行う 授業アンケートを実施する		
自学自習の内容		プリント学習					
関連科目							
教科書		「高校生の音楽①」教育芸術社					
参考書							
授業評価・理解度		最終回到授業アンケートを行う					
副担当教員		薄井信治					
備考		学校行事等で内容が入れ替わることがある 音楽祭は後期補講授業として合同で行う 忘れ物・授業態度で減点となることがある					